

令和4年度以降の新潟大学協創経営プログラム開講 インターンシップ科目に関する説明会

令和4年2月3日

新潟大学 工学部 工学科
協創経営プログラム長
増田 淳

現行の低学年時インターンシップ科目の概要

1年生 キャリアデザイン・インターンシップⅠ

融合分野（協創経営プログラム、人間支援感性科学プログラム）の85名

（第2ターム）4週間 2週間 × 2企業

数名のチーム単位で学外実習を実施し、前後半2週間ずつ、2組織で実習します。
いわゆる従来型インターンシップとして企業実務の体験が主目的です。

《プログラム選択》

協創経営プログラム
(30名)

2年生 キャリアデザイン・インターンシップⅡ

（第2ターム）4週間 1週間 × 4企業

数名のチーム単位で一週間ずつ、4組織（主に企業）で実習します。
多くの体験による複眼的な視野の涵養が主目的です。

現行の高学年時インターンシップ科目の概要

3年生 課題解決インターンシップ I

(第4ターム) 6週間 × 1企業

数名のチーム単位または単独で、じっくりと6週間実務経験を積むことで、
組織の課題発見能力を涵養します。
課題解決インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲでは、
原則として全て同一の組織での実習を想定しています。

4年生 課題解決インターンシップⅡ&Ⅲ

課題解決
インターンシップⅡ (第3ターム) 6週間 6週間 × 1企業

課題解決
インターンシップⅢ (第4ターム) 6週間 6週間 × 同企業

課題解決インターンシップⅡと連続で実施し、
明確化した課題の具体的解決方法を探索、提案します。
全てのプログラムを経験することでイノベーション・リーダーとしての基盤を涵養します。

インターンシップ科目改訂の目的

- 履修時期の改善
- 低学年時インターンシップ開講時期の集中化・柔軟化
- 高学年時インターンシップ開講時期の通年化
- インターンシップ系科目取得可能単位数増加による地域連携の強化

2022年度以降のインターンシップ

		履修年度						
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
入学 年度	2019	①キⅠ	②キⅡ	③課Ⅰ	④課Ⅱ,Ⅲ			
	2020		①キⅠ	②キⅡ	③	④課Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ		
	2021			①キⅠ	②キⅡ	③	④課Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	
	2022				①	②産地実	③産地実	④卒研

丸囲み数字は学年

「キ」はキャリアデザイン・インターンシップの略

「課」は課題解決インターンシップの略

2023年度より課題解決インターンシップを4年生の1年間で実施（従来は3年生と4年生の分断開講）

通年開講とすることで、研修先・学生の双方にとって、より効率的なインターンシップを実施可能

「産地実」は産業地域実習見学基礎、産業地域実習の略（キャリアデザイン・インターンシップの後継科目）

従来よりも地域連携を強化するとともに、最大6単位まで履修可能（従来は4単位まで）

集中開講とすることで、開講時期にとらわれず、研修先・学生の双方にとって柔軟にインターンシップを実施可能

「卒研」は卒業研修・卒業研究の一環としてインターンシップ科目を実施

2022年度のキャリアデザイン・インターンシップII

- 2年生第2ターム（6月13日～8月8日）に開講
- 一つの研修先への派遣期間は2週間（週4日）
- 二つの研修先に派遣
- 研修に関する旅費等を御負担頂ける研修先を優先

2022年度の課題解決インターンシップⅡ,Ⅲ

- 4年生第3～第4ターム（10月3日～翌年2月13日）に開講
- 研修先への派遣期間は計48日間
- 原則として、3年生で現在受講中の課題解決インターンシップⅠの研修先に派遣

2023～2024年度の課題解決インターンシップⅠ,Ⅱ,Ⅲ

- 4年生通年開講（課題解決インターンシップⅠについては年度前半の任意の時期の24日間）
- 研修先への派遣期間は計72日間
- 専門に近い協創経営プログラム教員と実施内容を事前協議

2022年度入学者のインターンシップ系科目

- 2年生第1タームで「産業地域実習見学基礎」を必修化
- 2年生～3年生の任意の時期に「産業地域実習」を最大5単位まで履修し、地域産業が抱える課題の理解を深化
- 4年生の卒業研修・卒業研究（双方合わせて通年科目）の中で、「産業地域実習」で得た知見をもとに、インターンシップを実施
- これらの科目については、プログラム内で制度設計中であり、1年後に詳細説明